鶴岡市社会福祉協議会

おだがいさま

odagaisama

第28号
平成22年
5月15日発行

障害者サロン
桜の下で楽しく交流！

平成22年度　事業計画・予算概要（P2～P3）

市社協事務局が
鶴岡市総合保健福祉センターへ移転（P4～P5）

情報掲示板（P6）

鶴岡市総合保健福祉センター（にこ・ふる）２階の一角に『障害者サロン』のスペースが設けられ、交流活動の場として利用できるようになりました。

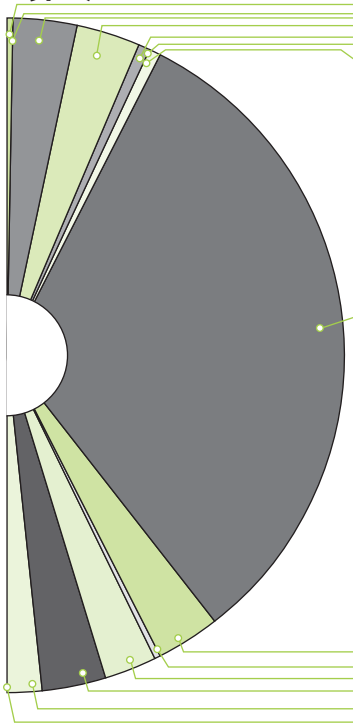
昨年度まで障害者サロンは、「かたぐるま」で定期的に開催していました。障がい者の方が就労を目指して公共交通機関の乗り方や電話の受け答えを学んだり、趣味などの余暇活動を楽しんだりしていました。

現在は、フリースペースとして各々が自由に活動できるほか、DVDの上映も行っています。また、障害者相談支援センターが企画して、月1～２回程度、絵画、調理実習、外出などの活動プログラムを行っていく予定です。去る４月２１日には、鶴岡公園での花見を行い、露店で買い物をしたりしながら約10名の参加者が親交を深めていました。

年度　事業計画・予算概要

収入　2,844,812 千円

計　予　算〉



会費収入	31,987	千円	1.1%
寄付金収入	3,590	千円	0.1%
補助金収入	172,601	千円	6.1%
受託金収入	159,823	千円	5.6%
事業収入	35,549	千円	1.3%
貸付事業等収入	6,380	千円	0.2%
共同募金配分金	16,981	千円	0.6%
介護保険収入	1,822,209	千円	64.1%
自立支援費等収入	178,549	千円	6.3%
補助事業等収入	16,846	千円	0.6%
運営費収入	143,322	千円	5.0%
繰入金	157,113	千円	5.5%
借入金償還補助金	85,912	千円	3.0%
雑収入等	13,950	千円	0.5%

≪特別会計予算≫	（就労継続支援事業）
収入予算：108,196 千円	支出予算：88,605 千円

≪特別会計予算≫	（地域包括支援センター事業）
収入予算：69,107 千円	支出予算：74,824 千円

平成二十二年度事業計画

平成二十二年度も改めて、市社協は公益性と公共性、非営利性の高い地域福祉を推進する中核的な団体であることを再認識するとともに、事業型社協として培ったノウハウを活かして、さまざまな福祉課題の解決にあたります。

また、これまで以上に本部と各福祉センター・施設が課題の共有と連携を図り、一体感を持って地域福祉活動の推進と経営の健全化に向けて、職員一丸となって事業計画の遂行に努力して参ります。

今年度重点的に取り組む事業と各部門の基本方針をお知らせします。

【平成二十二年度　重点事業】

一　地域福祉活動計画、社協発展・強化計画（仮称）の策定

平成二十三年から平成二十七年までの五年間の市社協活動理念と方向性を示す二つの計画を策定します。

平成17年３月に策定した「地域福祉活動計画　ハートピアプラン2005」

二　本部機能の移転開設、旧本部建物の有効利用

四月一日から社協本部が市総合保健福祉センターへ移転し、また、旧本部は、地域包括支援センター、訪問入浴サービスふれあい、居宅介護支援センターふれあい、福祉有償移送サービスおおぞら号の事務室となりました。

三　市障害者相談支援センター・くしびき東部保育園の円滑な運営

身体・知的・精神の障がい者への相談支援・就労支援を行う障害者相談支援センターの運営に取り組みます。また、くしびき東部保育園は、認可保育園として新たな運営に当たります。

四　住民主体による小地域福祉活動の推進

住民の地域福祉に対する理解と意識高揚を一層推進するため、住民自治組織の協力を得て、重点的に小地域福祉活動を実施します。

五　利用者本位の質の高いサービス提供と事故防止対策の強化

地域福祉的な視点に立ち、利用者から安心して利用いただけるようなサービスを提供します。

六　人材の安定的確保と職員の資質向上

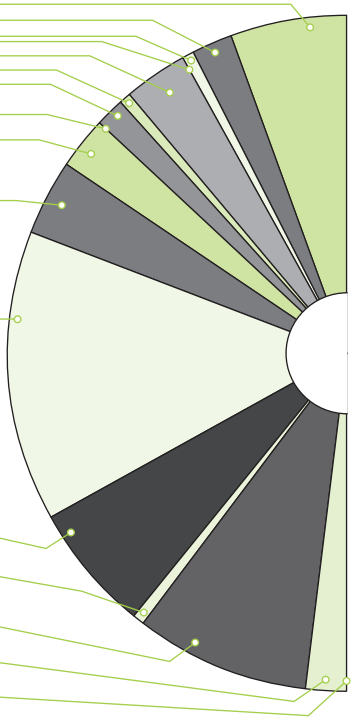
職員の資格取得を推奨するとともに、研修会への参加や自主研修を企画実施し、知識・技術の向上に努めます。

鶴岡市社会福祉協議会 平成22

支出 2,776,994千円

〈一般会

本部・支部運営事業	306,535	千円	11.0%
地域福祉事業	101,407	千円	3.7%
介護予防等事業	20,959	千円	0.8%
地域福祉センターなえづ管理事業	1,238	千円	0.1%
保育園運営事業	167,278	千円	6.0%
第二学区学童保育所運営事業	22,695	千円	0.8%
児童館運営事業	79,000	千円	2.8%
在宅福祉事業	3,455	千円	0.1%
障害者福祉事業	129,123	千円	4.6%
居宅介護支援事業	182,530	千円	6.6%
通所介護事業	792,781	千円	28.6%
訪問介護事業	333,709	千円	12.0%
訪問入浴事業	29,157	千円	1.1%
特別養護老人ホーム事業	499,911	千円	18.0%
老人短期入所事業	97,946	千円	3.5%
高齢者生活福祉センター事業	9,270	千円	0.3%



組織運営基本方針

「社協発展・強化計画」（仮称）を策定する中で、本部組織の見直しや、人事・労務管理、会計・財務、施設整備のあり方などについて総合的に検討を行います。

地域福祉事業基本方針

行政や福祉関係団体等の協力を得て、住民参加の手法により「地域福祉活動計画」を策定します。

ボランティア活動の推進については、住民の自発的な社会参加の機会を増やすため、ネットワークづくりを進めるとともに、福祉の心を醸成するための福祉教育を推進します。

また、経済状況の悪化に伴い、生活福祉資金やたすけあい資金の適正な貸付を行い、生活支援の一助とします。

高齢者福祉事業基本方針

住民や利用者のニーズに対応ができるよう、会員制訪問介護事業などの社協独自事業の見直しや新規事業の検討など、地域福祉の視点で事業経営計画を作成・整理します。

障がい者福祉事業基本方針

住み慣れた地域で障がい者が安心して日常生活が送れるよう社会参加の促進に努めます。

また、市総合保健福祉センターへ移転した「市障害者相談支援センター」は、周知を図りながら新たな相談支援体制を構築し、障がい者の自立支援に努めます。

児童福祉事業運営方針

幼児・児童の健全育成を図りつつ、多様化する子育て支援のニーズに応えます。子ども向けの楽しい企画の創出と情報発信に努めるとともに、必要に応じて行政・関係機関と連携しながら保護者の相談・支援を充実させていきます。

鶴岡市子育て広場まんまルーム

鶴岡市社会福祉協議会 事務局
鶴岡市ボランティアセンター
鶴岡市障害者相談支援センター

平成22年4月1日から 鶴岡市総合保健福祉センターへ移転しました

開所式テープカットの様子

平成22年４月１日、市総合保健福祉センター（にこ♥ふる）がオープンしました。にこ♥ふるでは、行政機関が主体となり、健康・福祉・子育ての相談から保健サービスの提供や健康づくりの支援を一元的に行っています。

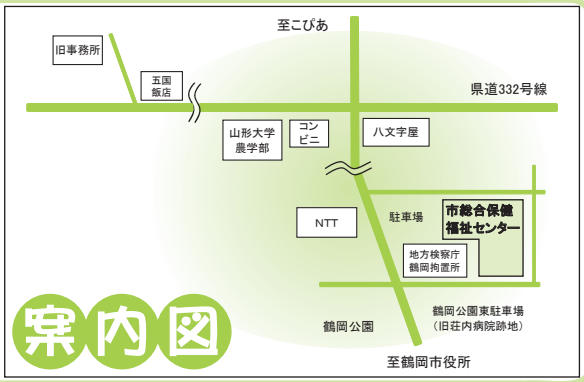
にこ♥ふる2階には社会福祉協議会事務局兼鶴岡福祉センター、鶴岡市ボランティアセンターも入居することとなり、４月１日に移転しました。また、鶴岡市ゆうあいプラザ内から『障害者相談支援センター』も移転しています。

初日にはオープニングセレモニーが開催され、榎本鶴岡市長や地域の代表者らとともに富樫会長がテープカットを行い、地元住民の方々と開設を祝いました。

所在地

●鶴岡市泉町５番３０号
市総合保健福祉センター２階

鶴岡駅より車で10分
最寄りのバス停　鶴岡NTT前
（市内廻り3・4コース）
駐車場：一般用31台
身障者用3台（屋根付）
※駐車場は社協専用ではありません



鶴岡市社協は 市総合保健福祉センター（にこ♥ふる）2階です！

鶴岡市
ボランティアセンター
【開設日時】
月曜日～土曜日
午前８時30分～午後５時15分
【電話・FAX】
☎25-2970　FAX23-9110
（以前と変更ありません）

鶴岡市社会福祉協議会
（総務課・地域福祉課・事業推進課）
【開設日時】月曜日～金曜日　午前８時30分～午後５時15分
【電話・FAX】☎24-0053　FAX23-9110（以前と変更ありません）

鶴岡市
障害者相談支援センター
【開設日時】
月曜日～金曜日
午前８時30分～午後５時15分
【電話・FAX】
☎25-2794　FAX25-2476

障害者サロン
【開設日時】
月曜日～金曜日
午前９時～午後４時30分

鶴岡市障害者相談支援センター

障がい（身体・知的・精神）のある方が地域で安心して暮らせるように、鶴岡市の委託を受けて自立生活と社会参加、家族の介護相談や福祉サービス利用、自分に合った仕事を見つけたい方のための就労支援などを行っています。このほか、障がいのある方同士や地域との交流を深めたり、働くための技術や情報を学ぶサロン事業や、調理を覚えたい方のための料理教室なども行います。

また、聴覚障がいのある方のために手話通訳を配置して情報保障を行い、家庭での役割認識や社会参加の支援をします。手話奉仕員養成講座も開催します。行政、関係機関、サービス事業所などと連携して生活支援をしていきます。

鶴岡市ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、ボランティアに関する相談に応じたり情報提供をしたりしています。市民の皆さんからの相談内容は様々ありますが、一つひとつ丁寧に対応し回答することをモットーとしています。相談から始まった事業も数多くあります。

また、関係機関・団体とのネットワーク構築や災害関連・福祉教育を継続的重点事業として取り組んでいます。そして、昨年度初めて開催した「市民活動まつり」をさらに良いものにするため、一般市民からも実行委員を募り、地域の方々とともに開催に向けた準備を進めています。

鶴岡市社会福祉協議会 事務局

鶴岡市社会福祉協議会本部として事務局（総務課・地域福祉課・事業推進課）がにこ•ふる内に移転しました。今まで同様、地域住民の皆さんや関係団体等と協働し地域福祉活動を行っています。

また、社協事務局では地域福祉課が窓口となり、『ふれあい福祉相談』を引き続き開設しています。常設相談として、失業や病気などで一時的な生活費が必要になった世帯に対して、たすけあい資金・生活福祉資金の貸付制度の利用に関する相談や、高齢者・障がい者の日常的な金銭管理（福祉サービス利用援助事業）に関する相談などに応じています。

また併せて、相続・多重債務など専門的な助言が必要な問題については、無料の弁護士相談（要予約）を定期的に実施しています。

事務局と障害者相談支援センター共用の相談室が３室完備され相談に応じる際は相談者のプライバシーを守ります。

4月1日から、いくつかの社協施設が変わりました

鶴岡ふれあいプラザ かたりあい

鶴岡市社協の旧事務所（西新斎町14-26）は次のサービス部門の事務室になりました。名称は鶴岡ふれあいプラザ“かたりあい”に変更になります。

- 鶴岡市社会福祉協議会地域包括支援センター（本センター）
  ☎29-1626（以前と変更ありません）　FAX29-1781
- 居宅介護支援センターふれあい
  ☎29-6129（以前と変更ありません）　FAX29-1781
- 訪問入浴サービスふれあい
  FAX29-1781
  ※電話番号は未定のため後日お知らせいたします。
- 有償移送サービスおおぞら号
  ☎29-1780　FAX29-1781

くしびき東部保育園

櫛引東部児童館・くしびき保育園東部分園を統廃合し、「くしびき東部保育園」となりました。

住所・電話番号は変更ありません。

第二学区学童保育所「こだま楽園」

第二学区学童保育所「やまびこ楽園」脇に「こだま楽園」を開設しました。

住所・電話番号は、やまびこ楽園と同じです。

情報掲示板

中央児童館「おはなし会」開催のご案内

☆講談社「本とあそぼう　全国訪問おはなし隊」

たくさんの絵本を載せたにぎやかなキャラバンカーがやってくる！紙芝居・絵本の読み聞かせと自由閲覧ができます。

●開催日　平成２２年６月２５日（金）
●時　間　PM3：35～4：05
（PM3：00～3：30までキャラバンカー見学）
●対　象　幼児～小学生低学年児童とその保護者

☆酒田海上保安部「うみまる環境教室」

環境紙芝居、イメージキャラクター“うみまる”とのふれあい、海上保安庁クイズを行います。

●開催日　平成２２年６月２７日（日）
●時　間　PM２：30～３：30
●対　象　幼児～小学生低学年児童とその保護者

各おはなし会に関するお問合せは鶴岡市中央児童館まで。
☎２４-４６０８　FAX２４-５７７３

平成22年度 手話奉仕員養成講座（基礎課程）の開催

手話を通じて聴覚障がい者の暮らしを知り、手話通訳の基礎を学びましょう。

●期間　平成22年６月４日～平成23年１月28日までの毎週金曜日（全32回）
（但し８月13日、12月24日・31日は除く）
●時間　AM10：00～PM12：00
●会場　鶴岡市総合保健福祉センター３階　小会議室
●受講料　1,470円（テキスト代）
●対象　手話奉仕員養成講座（入門課程）を終了した方または同程度の技術を有する方
●締切り　５月27日（木）
●申込み　鶴岡市総合保健福祉センター２階
鶴岡市障害者相談支援センター
☎２５-２１１１（内線603）　FAX２５-２４７６

日本財団助成事業完了のお知らせ

このたび、日本財団からの平成21年度助成金の交付を受け実施した車両整備事業が完了いたしました。

「デイサービスセンターたかだて」と「デイサービスセンターふれあい」にて利用者の送迎等に活用させていただいております。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
（平成22年2月21日から平成22年4月20日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター
・ルネサス山形セミコンダクタ㈱労働組合　様　249,133円
・匿名　2,000円
・匿名　2,006円
・鶴岡市朝市の会　様　10,908円
・鶴岡女性センター登録サークル連絡協議会　様　20,000円

◎羽黒福祉センター
・齋藤　孝喜　様　大相撲力士手形の額入

◎櫛引福祉センター
・鶴岡自動車学園　様　交通安全紙芝居

★鶴岡老人福祉センターへ
・富樫　芳子　様　フェイスタオル60枚

★鶴岡市中央児童館へ
・匿名　70,000円

★第二学区学童保育所やまびこ楽園へ
・匿名　50,000円

★鶴岡市子育て広場へ
・匿名　30,000円

★とようら老人デイサービスセンターへ
・芳賀　四郎　様　デジタルクロック
・庄内ミート㈱　様　生花

★地域福祉センターなえづへ
・朝暘第二小学校JRC委員会　様　デッキ輪投げ1台
・佐藤　秋良　様　眼鏡クリーニング器、ネームプレート
・庄内ミート㈱　様　生花

★鶴岡市ゆうあいプラザへ
・NTT東日本山形　様　製パン用ミキサーマイティー１台
・加藤　道夫　様　20,000円

★高齢者福祉センターおおやまへ
・難波　勝雄　様　60,000円

★櫛引すこやかセンターへ
・本間　徳世　様　ふきん39枚
・西片屋老人クラブ　様　タオル100枚、布シーツ１枚

ほっとコラム

「市民活動まつり」

「つるおか市民活動まつり」の前に「まず来ばいっちゃ」が付く。実行委員の方々が考えたのであろう。鶴岡の皆さんが大勢来てくれることを期待して。

さて、三月十四日㈯のイベント当日。少し心配で会場に早めに出掛けた。お手伝いするボランティアの高校生や一般の人の多さに驚き、またその動きの良さに感心させられた。そうしているうちに開会となった。講演会でのパワーポイントの調子が今ひとつだったり、会場の表示が小さかったり等々はあったが、初回にしてはまずまずではなかったか。参加者も三百人を越えたという。嬉しい限りである。

しかし、次回開催への課題は多いと思う。「まつり」ならもっと祭りらしい雰囲気を出してほしいし、講演会も考えてほしい等々。

「でも期待しているよ。次回を」という声は意外に多かったことも知ってほしい。（M）

おだがいさま
第28号
平成22年5月15日発行
発行部数　49,500部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町５番30号（鶴岡市総合保健福祉センター内）
TEL 24-0053　FAX 23-9110
ホームページ http://www.shk01.jp/

藤島福祉センター　TEL 64-3100
羽黒福祉センター　TEL 62-4534
櫛引福祉センター　TEL 57-5300
朝日福祉センター　TEL 53-2795
温海福祉センター　TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。